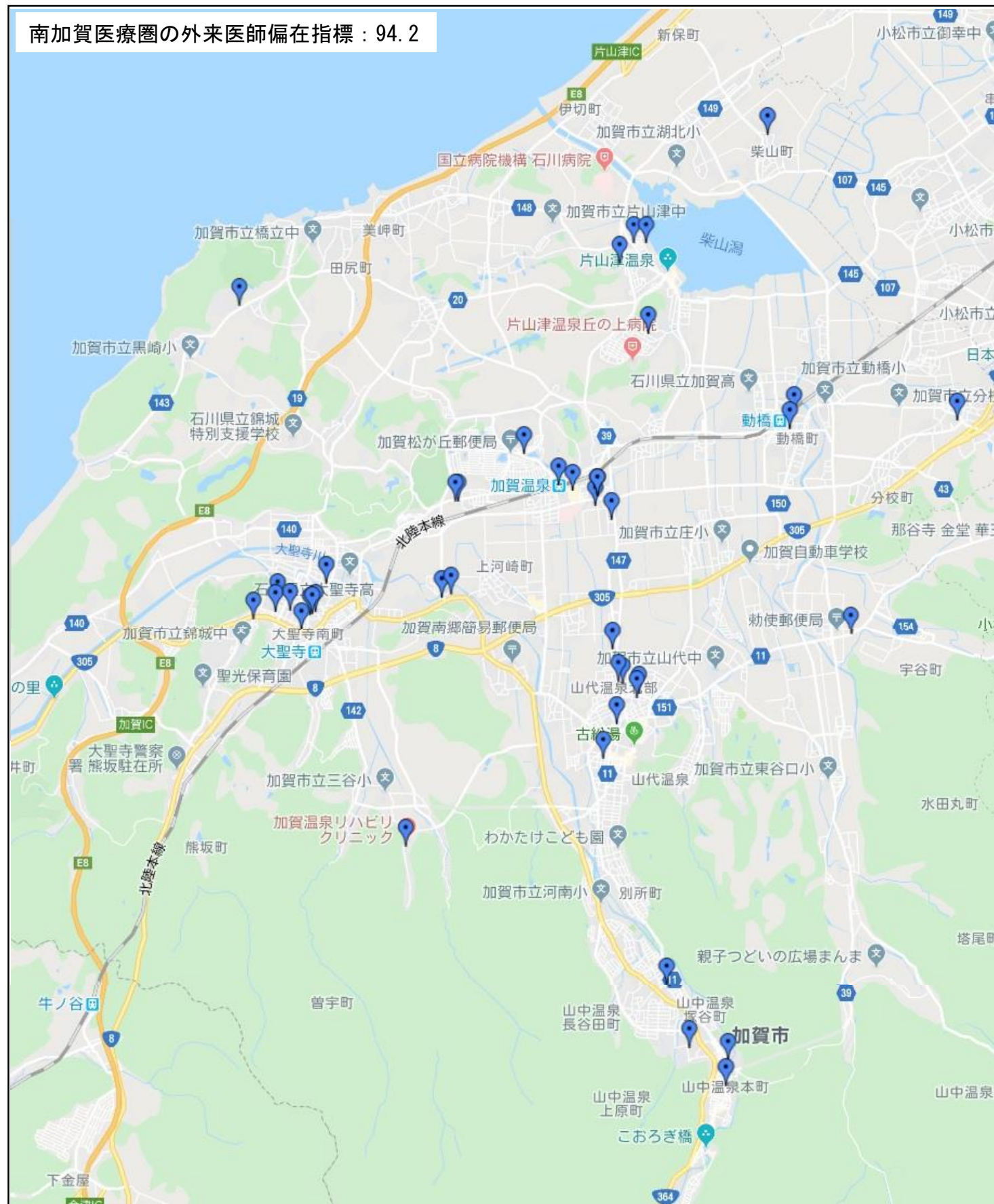


# 外来医療計画(参考資料)

# 外来医療計画(参考資料)

# 加賀市：加賀市医師会管内

南加賀医療圏の外来医師偏在指標：94.2



## ○主たる診療科別の診療所医師数

内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科	その他
28	3	2	1	3	1	2	2	5	3	0	3

(出典) 外来医師偏在指標に係るデータ集 (厚生労働省)

## ○診療科別の診療所数

	内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科
郡市医師会											
加賀市	30	6	8	1	9	2	1	0	5	4	1

※複数診療科を標榜している場合、それぞれの診療科にカウントしている

(出典) 「地域医療情報システム」 (日本医師会)

## ＜診療所医師数及び診療所数に関する郡市医師会からのメッセージ＞

- ・ 開業医の高齢化が進む加賀市では体力面・資金面で患者のニーズに全て対応していくことが現状難しいため、若く熱意がある開業医を希望している。
- ・ 新規開業や継承も少なく、特に皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科が少ない状況である。

○訪問診療を実施している医療機関数

市町	診療所数						市町	病院数								
	うち調査回答機関数							うち調査回答機関数								
	うち訪問診療実施機関数							うち訪問診療実施機関数								
	担当患者数別							担当患者数別								
	1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上	
加賀市	51	33	11	4	0	7	加賀市	6	6	1	0	0	1			

(出典) H28石川県健康福祉部地域医療推進室調べ

<訪問診療に関する郡市医師会からのメッセージ>

- ・地域としては広範囲でないため、診療時間のロスがない。

○その他の医療機能に関する郡市医師会メッセージ

- ・加賀市医師会は医師の高齢化により世代交代が円滑に取れていないが、精力的には行動がしやすい。チャレンジしたい医師はone teamとして活動できる郡市医師会に加入していただきたい。

○在宅当番医・休日夜間急患センターの実施体制

区分	参加数	(参考) 郡市医師会
○加賀市医師会・在宅当番医		加賀市医師会(42)
①内科	診療所19	・内科系30 ・外科系11 内科以外に整形外科等も協力
②小児科	診療所6	・小児科系9 急病センターと掛け持ちの医師あり
○南加賀急病センター		※南加賀急病センターは南加賀3市1町により合同で運営
①内科	登録医121人(うち大学派遣75人)	
②小児科	登録医53人(うち大学派遣33人)	

(出典) 診療所数:「地域医療情報システム」(日本医師会)

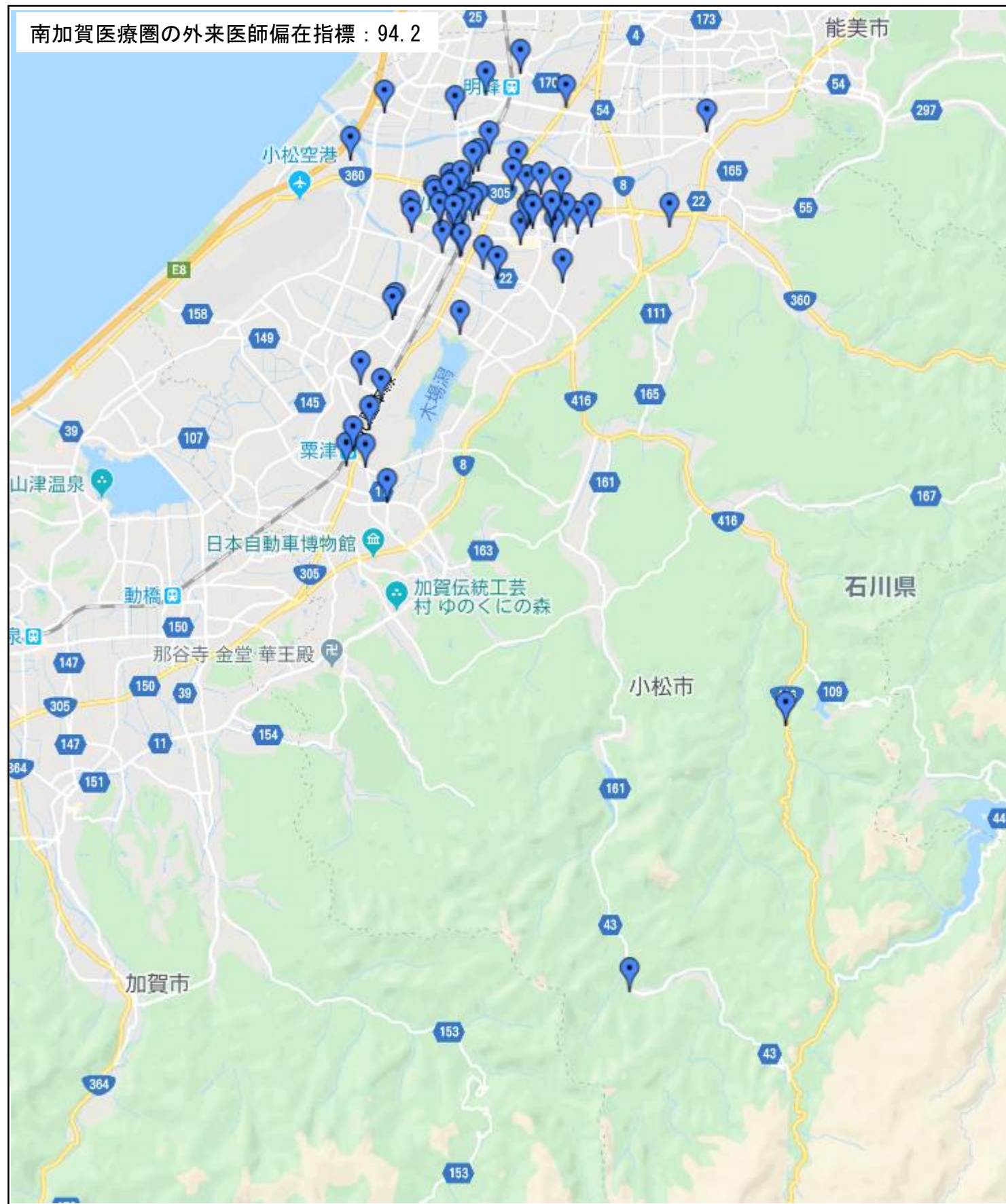
在宅当番参加数:「救急医療提供体制現況調べ」(地域医療推進室)

<在宅当番医・休日夜間急患センターに関する郡市医師会からのメッセージ>

- ・加賀市医師会の休日当番医(日曜及び祝日)について、内科は19名の医師が加賀市医療センターにて診察を行っている。
- ・小児科は6医療機関が当番制で病院並びに診療所にて月1回実施しているほか、南加賀急病センターにおいても当番を決め診察を施している状況である。ただ、日曜及び祝日の診察を実施する回数が少ないことから休養は取れている。
- ・南加賀急病センターでの人材不足が問題となっている。小児の窓口無料化の影響もあり、忙しいことが多いため、参加を躊躇する方もいる。



### 小松市：小松市医師会管内



#### ○主たる診療科別の診療所医師数

内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科	その他
26	2	6	0	6	5	5	3	5	6	0	2

(出典) 外来医師偏在指標に係るデータ集 (厚生労働省)

#### ○診療科別の診療所数

	内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科
郡市医師会											
小松市	36	7	7	2	11	4	6	0	6	6	1

※複数診療科を標榜している場合、それぞれの診療科にカウントしている

(出典) 「地域医療情報システム」 (日本医師会)

#### <診療所医師数及び診療所数に関する郡市医師会からのメッセージ>

- ・小児科の新規開業がなく、既存の小児科の診療所も1施設は高齢のため閉院となり、2施設は医師の体調不良のため診療を縮小している。また、小児科医全体の高齢化も進んでいる。そのため、学校医、こども園医の欠員を補充するために大変苦勞しており、若い小児科医を希望している。
- ・内科系の診療所について見ると、平成20年度～29年度の10年間に5件の閉院があったのに対し、新規開業は2件しかなかった。同様に10年間で見てみると、開業医数は60～69人、勤務医は79～85人で推移したが、増加傾向とはなっていない。
- ・現在、開業医、勤務医含め75歳以上の会員が26名おられ、今後さらに高齢化が進むことが危惧される。

○訪問診療を実施している医療機関数

市町	診療所数						市町	病院数								
	うち調査回答機関数							うち調査回答機関数								
	うち訪問診療実施機関数							うち訪問診療実施機関数								
	担当患者数別							担当患者数別								
	1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上	
小松市	72	52	12	4	4	4	小松市	12	12	5	3	1	1			

(出典) H28石川県健康福祉部地域医療推進室調べ

<訪問診療に関する郡市医師会からのメッセージ>

- ・2年前に小松市医師会で行ったアンケート調査では、診療所の約半数が何らかの訪問診療を行っているとの結果だった。
- ・小松ソフィア病院が後方支援病院として積極的に対応している。
- ・以前からこまつ在宅医療研究会や医療法人社団田谷会が訪問診療についての研修会を数多く開催しており、会員の役に立っている。

○その他の医療機能に関する郡市医師会メッセージ

- ・現在、学校からの産業医の依頼が3件あるが、引き受け手がいない状況であり、産業医に協力してくれる方を希望している。

○在宅当番医・休日夜間急患センターの実施体制

区分	参加数	(参考) 郡市医師会	
○南加賀急病センター		小松市医師会 (63)	
①内科	登録医121人 (うち大学派遣75人)	・内科系36	
②小児科	登録医53人 (うち大学派遣33人)	・小児科系11	

(出典) 診療所数：「地域医療情報システム」 (日本医師会)

在宅当番参加数：「救急医療提供体制現況調べ」 (地域医療推進室)

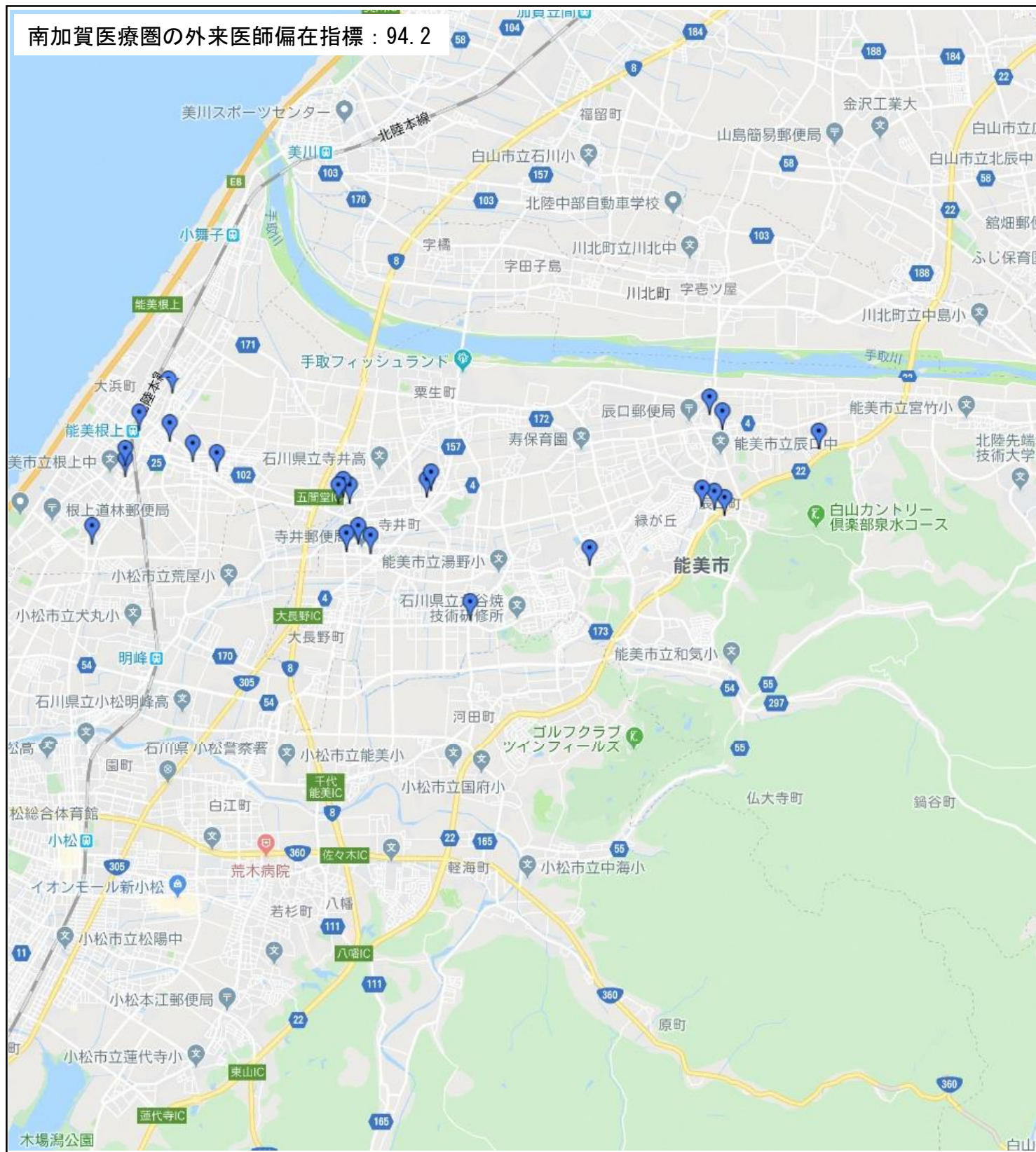
<在宅当番医・休日夜間急患センターに関する郡市医師会からのメッセージ>

- ・小松市には南加賀急病センターがあり、内科系と小児科の医師に対応してもらっている。
- ・休日・祝日の患者数が多いため、各科2人体制をとりたいが、1人体制をとるのがやっとの状態であり、特に、連休の時には当番を敬遠する方が多く、担い手の先生が同じ人に限定されている問題もある。
- ・南加賀急病センターへの出務に協力的な方を希望する。



# 能美市：能美市医師会管内

南加賀医療圏の外来医師偏在指標：94.2



## ○主たる診療科別の診療所医師数

内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科	その他
12	1	4	0	3	0	1	1	1	1	1	0

(出典) 外来医師偏在指標に係るデータ集 (厚生労働省)

## ○診療科別の診療所数

郡市医師会		内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科
能美市	市町	18	4	4	0	7	1	1	0	1	1	2
	能美市	17	4	4	0	7	0	1	1	1	1	1
	川北町	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

※複数診療科を標榜している場合、それぞれの診療科にカウントしている

(出典) 「地域医療情報システム」 (日本医師会)

## ＜診療所医師数及び診療所数に関する郡市医師会からのメッセージ＞

＜能美市医師会管内（能美市、川北町）共通＞  
 能美市医師会の開業医では数年以内に継承を予定されている複数の医療機関がある。また標榜科（複数診療科）と実際に機能している診療科に違いがあるところもあるため詳細な情報については直接、能美市医師会に問い合わせいただきたい。

○訪問診療を実施している医療機関数

市町	診療所数						市町	病院数								
	うち調査回答機関数							うち調査回答機関数								
	うち訪問診療実施機関数							うち訪問診療実施機関数								
	担当患者数別							担当患者数別								
	1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上	
能美市	33	21	11	7	1	3	能美市	3	3	1	0	0	1			

(出典) H28石川県健康福祉部地域医療推進室調べ

<訪問診療に関する郡市医師会からのメッセージ>

<能美市医師会管内（能美市、川北町）共通>  
 能美市の地域包括支援センターと医師会の医療コーディネータが域外から神経難病や終末期医療などの在宅医療を必要とする患者について訪問診療を行う医療機関に紹介している。（昨年の実績15件）  
 自宅等への訪問診療の数自体は介護施設入所などの影響もあってあまり増加していない。市内の3病院は訪問診療の後方支援を行っている。

○その他の医療機能に関する郡市医師会メッセージ

<能美市医師会管内（能美市、川北町）共通>  
 能美市医師会は能美市と川北町の医師会員から構成されている。  
 能美市医師会は能美市と協働で医療、介護および福祉の多職種によるMCNという活動や医療コーディネータを通じて地域包括ケアシステムの実践を行ってきた医師会である。  
 また能美市は最近、子育て世代が多く移住しており、全国の住みよさランキングで令和元年は8位であった。

○在宅当番医・休日夜間急患センターの実施体制

区分	参加数	(参考) 郡市医師会
○能美市医師会・在宅当番医		能美市医師会（26） (注) 医師会の行事日など
①内科	診療所20 病院2 <sup>(注)</sup>	・能美市24 ・川北町2 内科で小児患者も診療
○南加賀急病センター		※南加賀急病センターは南加賀3市1町により合同で運営
①内科	登録医121人（うち大学派遣75人）	
②小児科	登録医53人（うち大学派遣33人）	

(出典) 診療所数：「地域医療情報システム」（日本医師会）

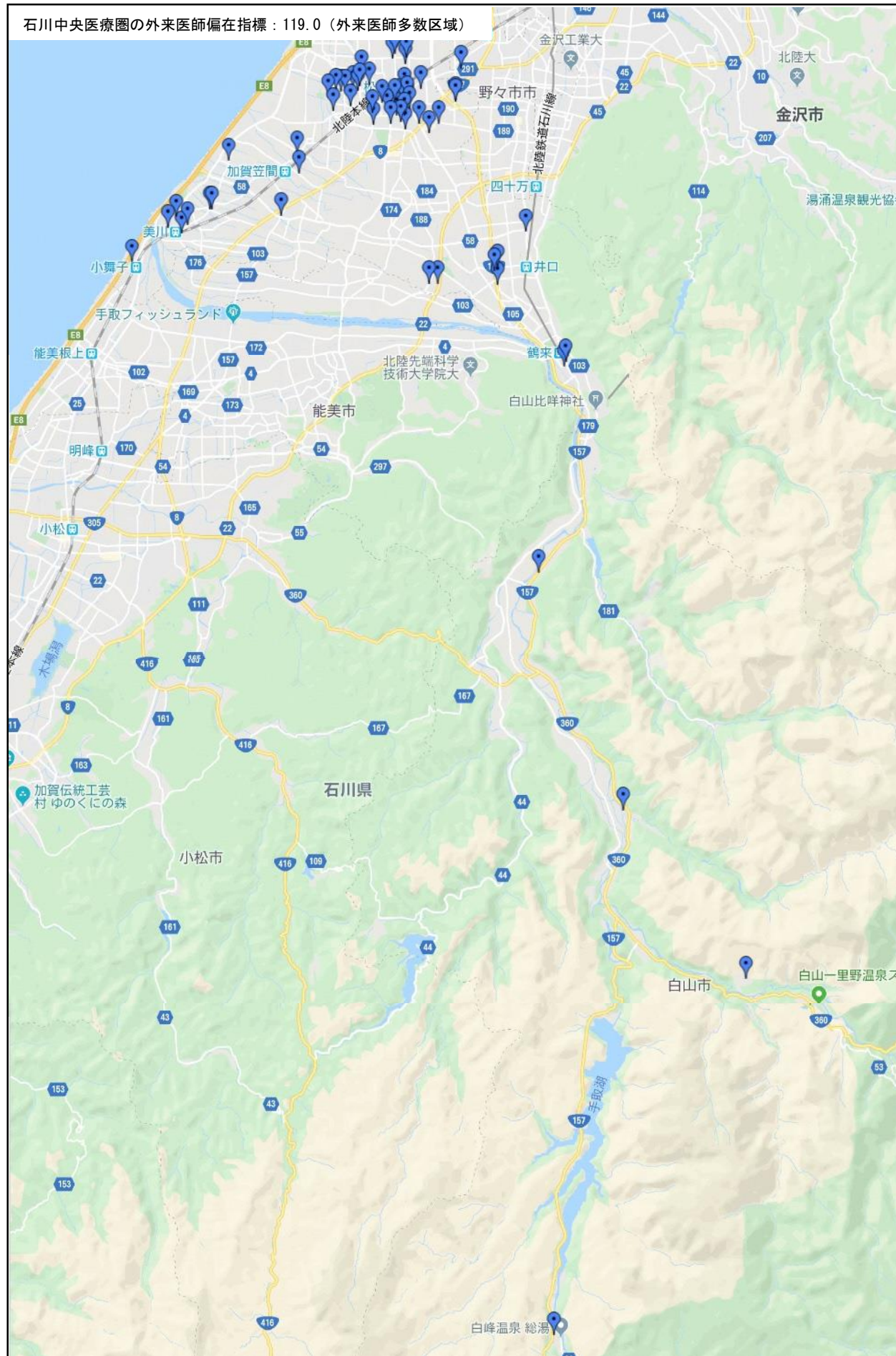
在宅当番参加数：「救急医療提供体制現況調べ」（地域医療推進室）

<在宅当番医・休日夜間急患センターに関する郡市医師会からのメッセージ>

<能美市医師会管内（能美市、川北町）共通>  
 能美市、川北町の休日当番医は市内の病院と協力して能美市医師会で行っている。各医療機関、年に3回程度担当している。



# 白山市：白山ののいち医師会管内



## ○主たる診療科別の診療所医師数

内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科	その他
28	5	6	1	7	1	3	1	3	3	0	4

(出典) 外来医師偏在指標に係るデータ集 (厚生労働省)

## ○診療科別の診療所数

郡市医師会	内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科
白山ののいち	65	17	17	3	18	5	10	1	6	7	2
白山市	41	10	11	1	11	2	6	1	3	4	0
野々市市	24	7	6	2	7	3	4	0	3	3	2

※複数診療科を標榜している場合、それぞれの診療科にカウントしている  
(出典) 「地域医療情報システム」 (日本医師会)

## ＜診療所医師数及び診療所数に関する郡市医師会からのメッセージ＞

- 白山市における人口10万人当たりの診療所医師数は155人で全国平均 (205人) より下回っている状況である。また、診療所の数については、旧松任市地域は多いが、鶴来地域は少ない。特に白山麓では無医師地区も存在する現況から、地域内格差が顕著である。  
(参考) 10万人当たり一般診療所数 (2015年)  
白山市：54.9 全国：68.1  
出典：「地域医療情報システム」 (日本医師会) (以下同じ)
- 診療科では、産婦人科 (特に産科)、眼科、耳鼻科、皮膚科が不足している感があり、精神科や心療内科については1つも診療所がない。また、小児科医は高齢化が目立っている。  
(参考) 10万人当たり一般診療所数 (2015年)  
  - ＜眼科＞  
白山市：2.75 全国：6.77
  - ＜耳鼻科＞  
白山市：3.66 全国：4.55
  - ＜産婦人科＞  
白山市：1.83 全国：3.81
- 医療需要予測指数は2030年まで上昇し、その後緩やかに減少するが、2045年までは現状より上回る。

○訪問診療を実施している医療機関数

市町	診療所数						市町	病院数								
	うち調査回答機関数							うち調査回答機関数								
	うち訪問診療実施機関数							うち訪問診療実施機関数								
	担当患者数別							担当患者数別								
	1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上	
白山市	69	62	24	13	5	6	白山市	4	4	3	1	0	2			

(出典) H28石川県健康福祉部地域医療推進室調べ

＜訪問診療に関する郡市医師会からのメッセージ＞

- ・在宅療養支援診療所数は比較的多い。往診のみを実施している診療所を含めるとさらに数が増える。
- ・訪問診療先は自宅から施設にシフトしている。施設への訪問診療は、施設の嘱託医や在宅専門の医師に限られるという傾向にある。
- ・白山ののいち医師会としては、新規開業の医師もかかりつけ医の役割として、訪問診療を積極的に行っていただきたい。

○その他の医療機能に関する郡市医師会メッセージ

- ・事業所の産業医や産業保健事業、学校医としての役割を担っていただきたい。
- ・医師会事業への積極的参加をお願いしたい。

○石川中央医療圏（白山市）における不足する医療機能

外来医師多数区域である石川中央医療圏で新規開業をする場合、届出の際、下記のいずれかの機能を担うことを確認する。

地域で特に不足する診療科での開業、診療所が特に不足する地区での開業

特に不足する診療科：産婦人科（産科）、眼科、耳鼻科、皮膚科、精神科、心療内科、小児科

特に不足する地区：鶴来地区（旧鶴来町）、白山麓（旧河内村、旧鳥越村、旧吉野谷村、旧尾口村、旧白峰村）

訪問診療の実施

在宅当番医・金沢広域急病センターへの協力

地域で不足するその他の医療機能の実施

不足するその他の医療機能：産業医、学校医

○在宅当番医・休日夜間急患センターの実施体制

区分	参加数	(参考) 郡市医師会	
<b>○白山ののいち医師会・在宅当番医</b>		白山ののいち医師会（102）	
①白山市の内科	診療所17	・内科系33	
②白山市の外科	診療所13	・外科系19	
③野々市市の内科	診療所14 病院 1	・内科系24	
④野々市市の外科	診療所7	・外科系12	
⑤鶴来・白山麓	診療所7 病院 1	・鶴来・白山麓地区9	
⑥小児科	診療所8	・小児科系18	急病センターと掛け持ちの医師あり
<b>○金沢広域急病センター</b>		※金沢広域急病センターの小児科は石川中央医療圏 4市 2町により	
①小児科	登録医55人（うち大学派遣15人）	合同で運営	

(出典) 診療所数：「地域医療情報システム」（日本医師会）

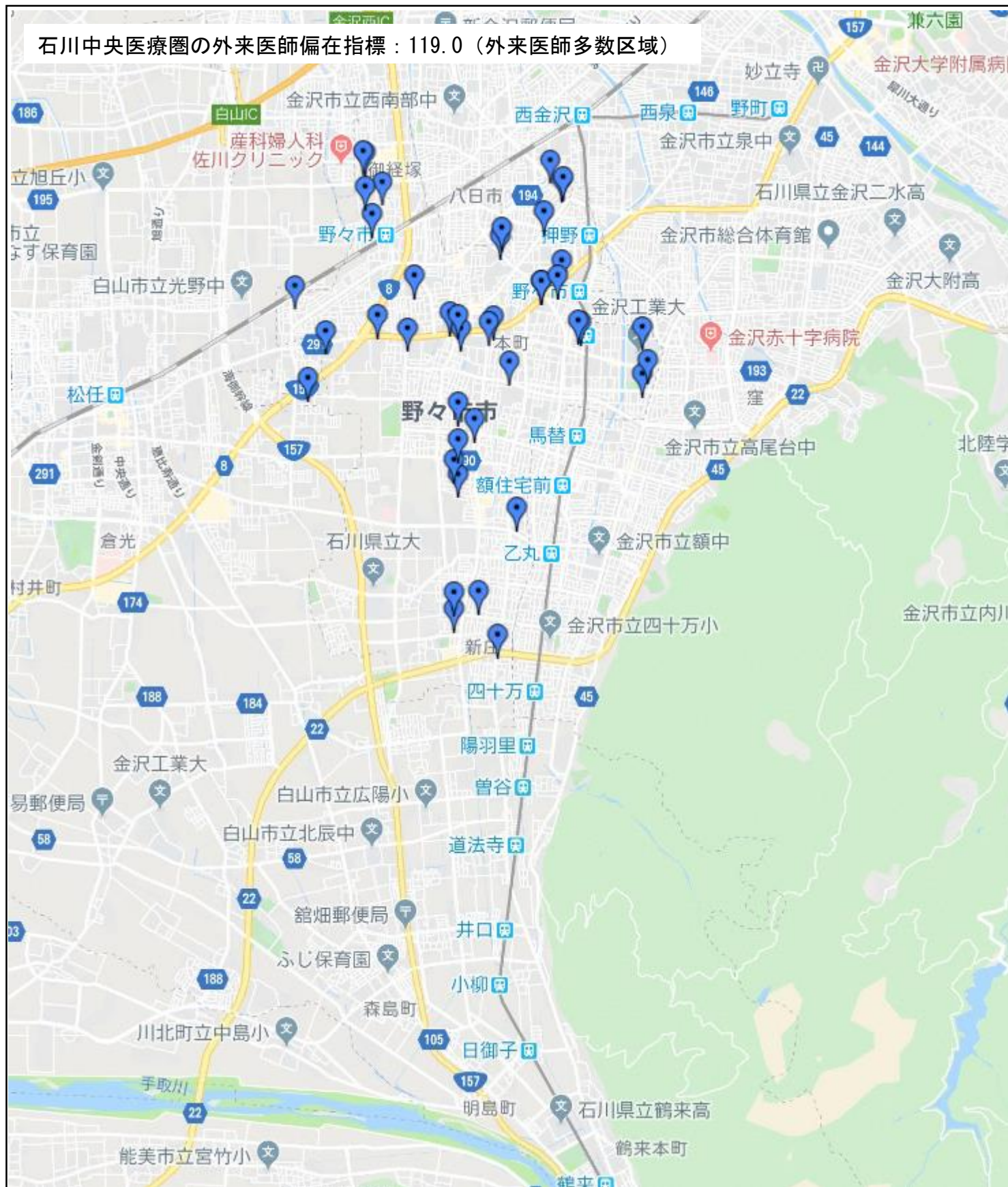
在宅当番参加数：「救急医療提供体制現況調べ」（地域医療推進室）

＜在宅当番医・休日夜間急患センターに関する郡市医師会からのメッセージ＞

- ・内科、外科、小児科（小児科は野々市市と合同）にて、それぞれ休日当番医を配置（午前のみ）。新規開業した医師会員については参加を義務付けている。
- ・小児科医数名が、金沢市の小児時間外救急センターに出務している。



### 野々市市：白山ののいち医師会管内



#### ○主たる診療科別の診療所医師数

内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科	その他
22	2	4	1	2	4	1	0	4	4	1	1

(出典) 外来医師偏在指標に係るデータ集 (厚生労働省)

#### ○診療科別の診療所数

	内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科
郡市医師会											
白山ののいち	65	17	17	3	18	5	10	1	6	7	2
白山市	41	10	11	1	11	2	6	1	3	4	0
野々市市	24	7	6	2	7	3	4	0	3	3	2

※複数診療科を標榜している場合、それぞれの診療科にカウントしている

(出典) 「地域医療情報システム」 (日本医師会)

#### <診療所医師数及び診療所数に関する郡市医師会からのメッセージ>

- ・10万人当たり診療所数は全国平均をやや上回る状況である。診療科別で見ると、内科は全国並みであり、その他の科は大体均等だが、小児科は少ない状況である。  
(参考) 人口10万人あたり診療所数 (2015年)  
野々市市：76.2    全国：68.1  
出典：「地域医療情報システム」 (日本医師会) (以下同じ)
- ・2040年頃まで人口は増加する見込みであり、医療需要予測指数も2045年以降も増大が見込まれる。



○訪問診療を実施している医療機関数

市町	診療所数						市町	病院数								
	うち調査回答機関数							うち調査回答機関数								
	うち訪問診療実施機関数							うち訪問診療実施機関数								
	担当患者数別							担当患者数別								
	1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上	
野々市市	50	33	8	4	2	2	野々市市	3	3	1	0	0	1			

(出典) H28石川県健康福祉部地域医療推進室調べ

<訪問診療に関する郡市医師会からのメッセージ>

・訪問診療は、一部の在宅医療専門の医療機関に集中している状況である。

○その他の医療機能に関する郡市医師会メッセージ

・事業所の産業医や産業保健事業、学校医としての役割を担っていただきたい。  
・医師会事業への積極的参加をお願いしたい。

○石川中央医療圏（野々市市）における不足する医療機能

外来医師多数区域である石川中央医療圏で新規開業をする場合、届出の際、下記のいずれかの機能を担うことを確認する。

- 地域で特に不足する診療科での開業、診療所が特に不足する地区での開業  
特に不足する診療科：小児科  
特に不足する地区：なし
- 訪問診療の実施
- 在宅当番医・金沢広域急病センターの協力
- 地域で不足するその他の医療機能の実施  
不足するその他の医療機能：産業医、学校医

○在宅当番医・休日夜間急患センターの実施体制

区分	参加数	(参考) 郡市医師会
○白山ののいち医師会・在宅当番医		白山ののいち医師会 (102)
①白山市の内科	診療所17	・内科系33
②白山市の外科	診療所13	・外科系19
③野々市市の内科	診療所14 病院 1	・内科系24
④野々市市の外科	診療所7	・外科系12
⑤鶴来・白山麓	診療所7 病院 1	・鶴来・白山麓地区9
⑥小児科	診療所8	・小児科系18 急病センターと掛け持ちの医師あり
○金沢広域急病センター		※金沢広域急病センターの小児科は石川中央医療圏4市2町により
①小児科	登録医55人 (うち大学派遣15人)	合同で運営

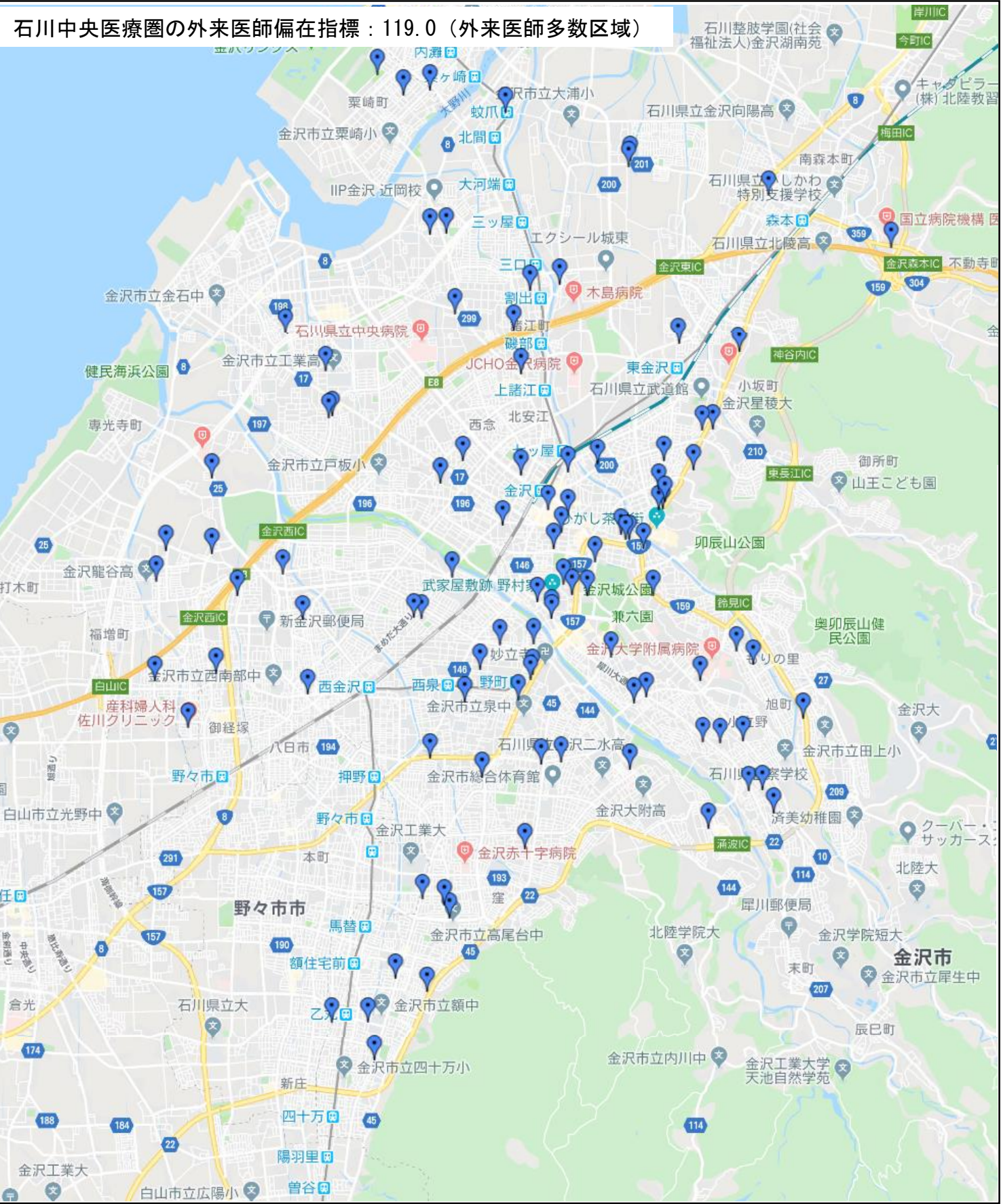
(出典) 診療所数：「地域医療情報システム」(日本医師会)

在宅当番参加数：「救急医療提供体制現況調べ」(地域医療推進室)

<在宅当番医・休日夜間急患センターに関する郡市医師会からのメッセージ>

・内科、外科、小児科（小児科は野々市市と合同）にて、それぞれ休日当番医を配置（午前のみ）。新規開業した医師会員については参加を義務付けている。  
・小児科医数名が、金沢市の小児時間外救急センターに出務している。

金沢市：金沢市医師会管内



(出典) 地域医療情報システム (日本医師会)  
 ※地域医療情報システムの関係上、一度に100箇所までしか表示できませんので、全ての診療所が表示されているわけではありません。  
 国から市町単位での診療所の分布データが来る予定ですので、今後はそちらを活用予定です。

○主たる診療科別の診療所医師数

内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科	その他
186	19	24	5	28	26	27	2	35	21	16	31

(出典) 外来医師偏在指標に係るデータ集 (厚生労働省)

○診療科別の診療所数

郡市医師会	内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科
金沢市	198	43	44	8	48	23	36	6	35	16	22

※複数診療科を標榜している場合、それぞれの診療科にカウントしている  
 (出典) 「地域医療情報システム」 (日本医師会)

＜診療所医師数及び診療所数に関する郡市医師会からのメッセージ＞

医師の高齢化により、下記の診療科について不足が予想される

- ・小児科医 (現状は60代：11名、70代：7名、80代以上：3名)
- ・産婦人科 (現状は60代：4名、70代：7名、80代以上：4名)
- ・耳鼻咽喉科 (現状は60代：4名、70代：2名、80代以上：4名)



○訪問診療を実施している医療機関数

市町	診療所数						市町	病院数								
	うち調査回答機関数							うち調査回答機関数								
	うち訪問診療実施機関数							うち訪問診療実施機関数								
	担当患者数別							担当患者数別								
	1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上	
金沢市	409	281	64	32	9	23	金沢市	44	44	12	5	0	7			

(出典) H28石川県健康福祉部地域医療推進室調べ

<訪問診療に関する郡市医師会からのメッセージ>

- ・訪問診療は金沢市では比較的充足しているが、今後在宅医療が増え、不足することも考えられるため、協力をお願いしたい。
- ・訪問診療の実施にあたっては、事前にかかりつけ医等との連携をしっかりとしてほしい。

○その他の医療機能に関する郡市医師会メッセージ

- ・住民健診、予防接種、学校医、産業医への協力をお願いしたい。

○石川中央医療圏（金沢市）における不足する医療機能

外来医師多数区域である石川中央医療圏で新規開業をする場合、届出の際、下記のいずれかの機能を担うことを確認する。

- 地域で特に不足する診療科での開業、診療所が特に不足する地区での開業  
特に不足する診療科：小児科、産婦人科、耳鼻咽喉科  
特に不足する地区：なし
- 訪問診療の実施
- 在宅当番医・金沢広域急病センターへの協力
- 地域で不足するその他の医療機能の実施  
不足するその他の医療機能：住民健診、予防接種、学校医、産業医

○在宅当番医・休日夜間急患センターの実施体制

区分	参加数	(参考) 郡市医師会	
<b>○金沢市医師会・在宅当番医</b>		金沢市医師会 (334)	
①内科 (3～4か所)	診療所102 病院13	・内科系198	急病センターと掛け持ちの医師あり
②小児科	診療所22 病院5	・小児科系48	急病センターと掛け持ちの医師あり
③整形外科	診療所23 病院9	・外科系82	
④外科	診療所26 病院8	・産婦人科系23	
⑤産婦人科	診療所17 病院2	・眼科系35	
⑥眼科	診療所24	・耳鼻咽喉科系16	
⑦耳鼻咽喉科	診療所14	・皮膚科系36	
⑧皮膚科・泌尿器科 ・形成外科	診療所27	・精神科系22	
<b>○金沢広域急病センター</b>		※金沢広域急病センターの小児科は石川中央医療圏4市2町により 合同で運営	
①内科	登録医83人		
②小児科	登録医55人 (うち大学派遣15人)		

(出典) 診療所数：「地域医療情報システム」(日本医師会)

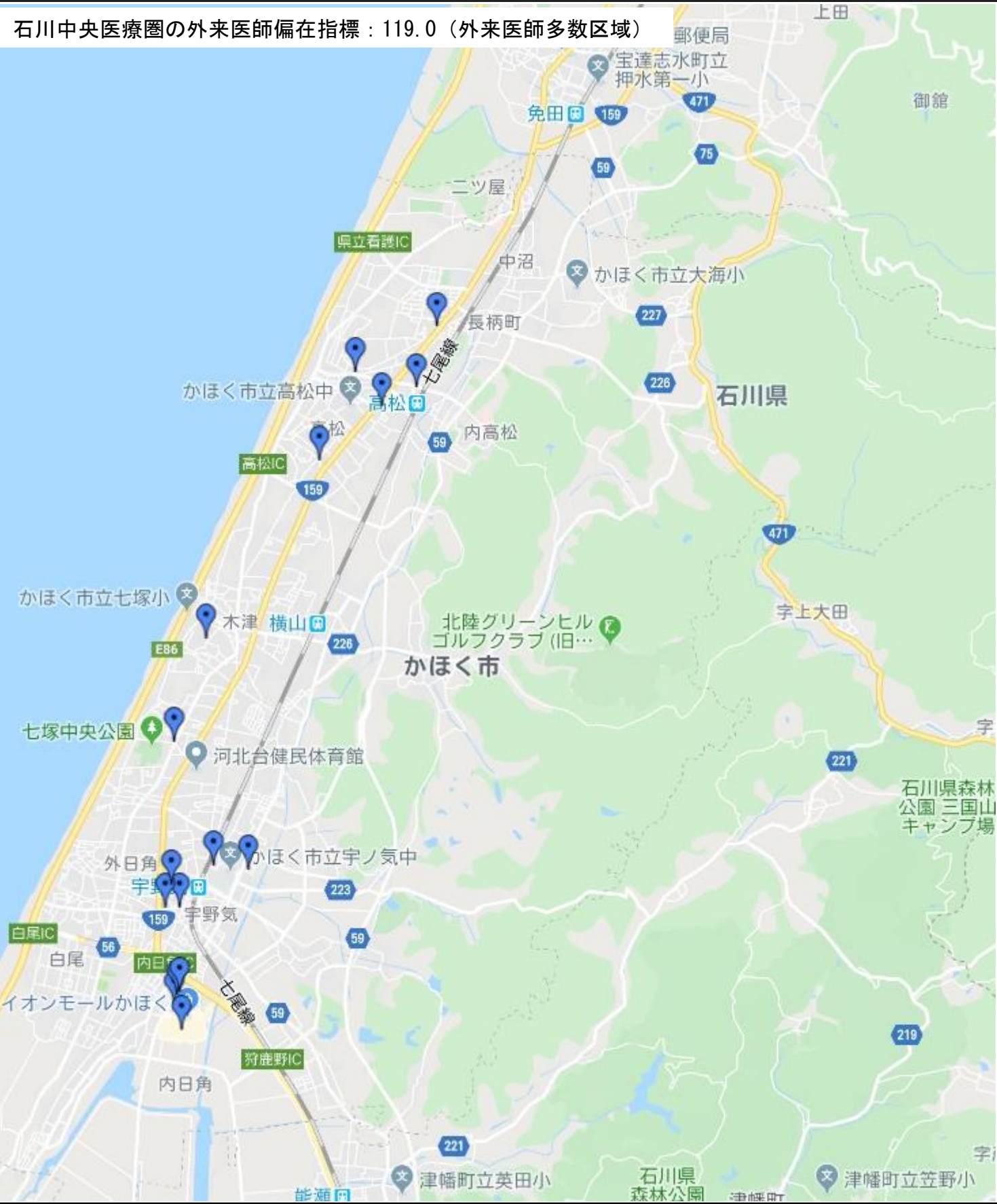
在宅当番参加数：「救急医療提供体制現況調べ」(地域医療推進室)

<在宅当番医・休日夜間急患センターに関する郡市医師会からのメッセージ>

- ・金沢広域急病センターについては、現在、大学の勤務医からの応援が多い状況であるが、今後働き方改革により応援を得にくくなることが予想されるため、協力をお願いしたい。
- ・各診療科ごとに実施している休日当番医についても協力をお願いしたい。



かほく市：河北郡市医師会管内



(出典) 地域医療情報システム（日本医師会）

○主たる診療科別の診療所医師数

内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科	その他
10	0	1	0	2	1	0	0	2	1	0	1

(出典) 外来医師偏在指標に係るデータ集（厚生労働省）

○診療科別の診療所数

		内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科
郡市医師会												
河北郡市	かほく市	12	3	2	0	9	1	2	0	2	0	1
	津幡町	11	1	4	1	7	1	3	0	2	1	0
	内灘町	8	1	1	0	5	2	1	0	2	2	0

※複数診療科を標榜している場合、それぞれの診療科にカウントしている  
(出典) 「地域医療情報システム」(日本医師会)

＜診療所医師数及び診療所数に関する郡市医師会からのメッセージ＞

・最近耳鼻咽喉科の診療所が1か所閉院しており、地域住民の方々から新規開業の要望がある。

○訪問診療を実施している医療機関数

市町	診療所数						市町	病院数								
	うち調査回答機関数							うち調査回答機関数								
	うち訪問診療実施機関数							うち訪問診療実施機関数								
	担当患者数別							担当患者数別								
	1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上	
かほく市	21	17	7	2	2	3	かほく市	3	3	2	0	1	1			

(出典) H28石川県健康福祉部地域医療推進室調べ

<訪問診療に関する郡市医師会からのメッセージ>

・多職種と連携し在宅医療を推進しているので協力をお願いしたい。

○その他の医療機能に関する郡市医師会メッセージ

・産業医の資格を持っている方は積極的な活用をお願いしたい。

○石川中央医療圏（かほく市）における不足する医療機能

外来医師多数区域である石川中央医療圏で新規開業をする場合、届出の際、下記のいずれかの機能を担うことを確認する。

- 地域で特に不足する診療科での開業、診療所が特に不足する地区での開業  
特に不足する診療科：耳鼻咽喉科  
特に不足する地区：なし
- 訪問診療の実施
- 在宅当番医・金沢広域急病センターへの協力
- 地域で不足するその他の医療機能の実施  
不足するその他の医療機能：産業医

○在宅当番医・休日夜間急患センターの実施体制

区分	参加数	(参考) 郡市医師会	
<b>○河北郡市医師会・在宅当番医（2か所）</b>		河北郡市医師会（49）	内科とその他の診療科の組み合わせ。 小児は内科で対応。急病センターと掛け持ちの医師あり。
①かほく市	診療所15 病院2	・かほく市16	
②津幡町	診療所18 病院2	・津幡町19	
③内灘町	診療所11	・内灘町14	
<b>○金沢広域急病センター</b>		※金沢広域急病センターの小児科は石川中央医療圏4市2町により	
①小児科	登録医55人（うち大学派遣15人）	合同で運営	

(出典) 診療所数：「地域医療情報システム」（日本医師会）

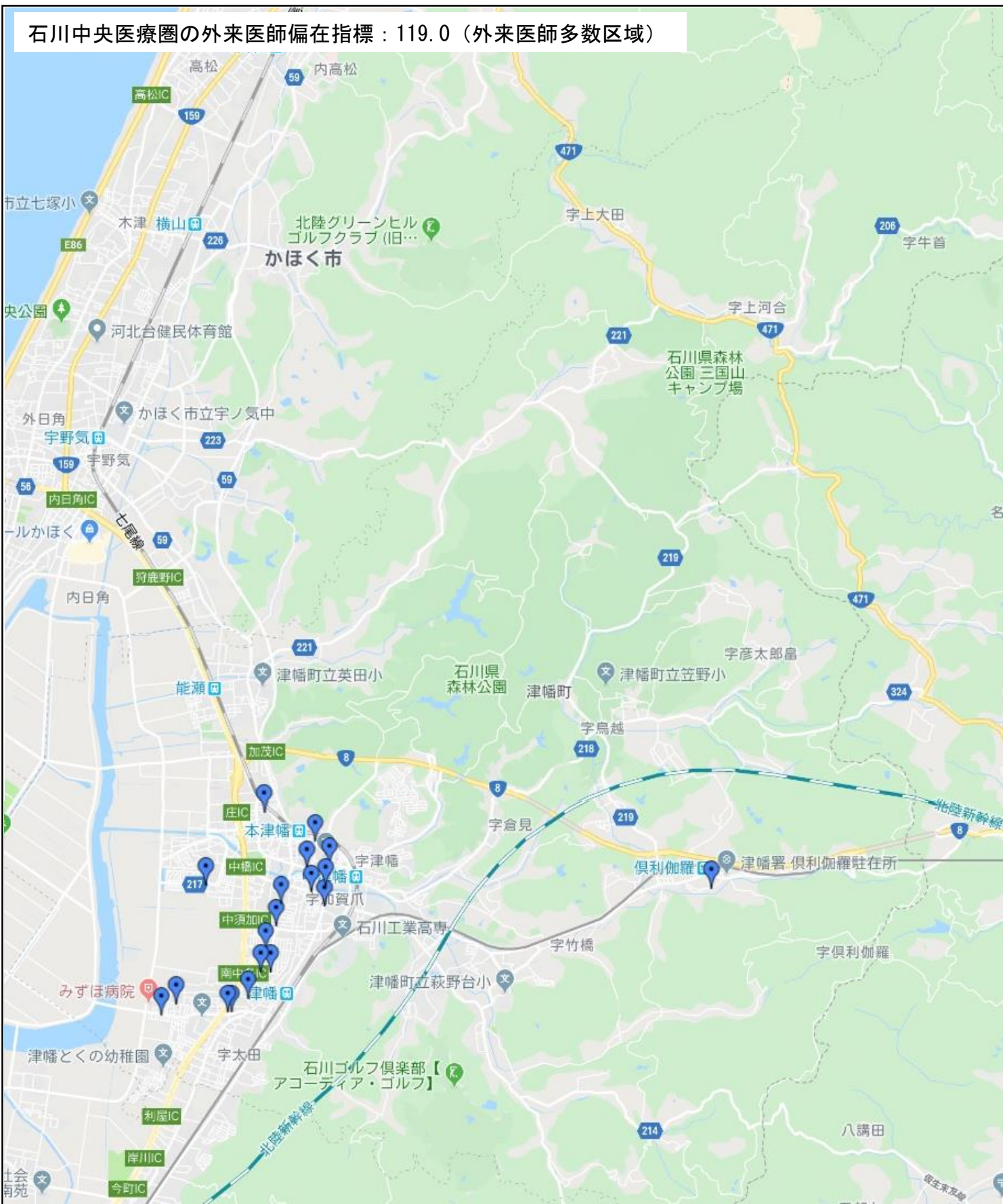
在宅当番参加数：「救急医療提供体制現況調べ」（地域医療推進室）

<在宅当番医・休日夜間急患センターに関する郡市医師会からのメッセージ>

・行政からの委託事業である休日当番医に参加をお願いしたい。



# 津幡町：河北郡市医師会管内



## ○主たる診療科別の診療所医師数

内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科	その他
9	1	2	1	1	1	2	0	2	1	0	1

(出典) 外来医師偏在指標に係るデータ集 (厚生労働省)

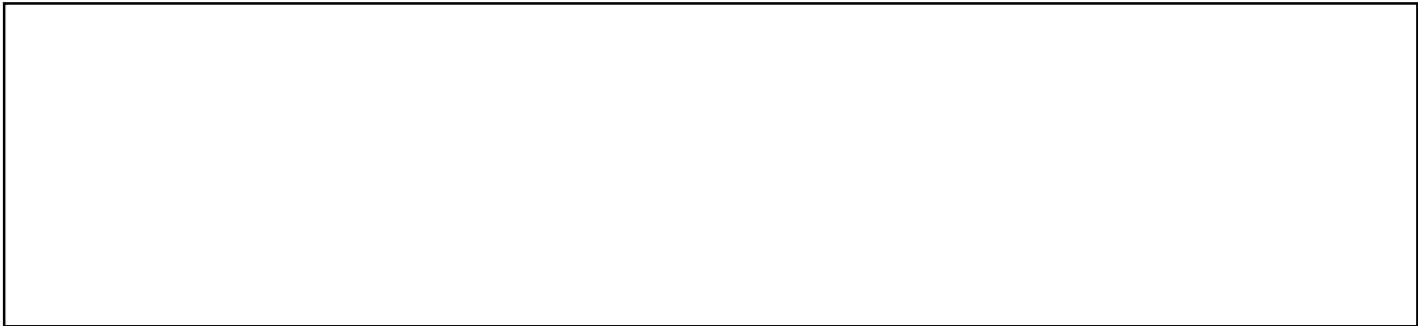
## ○診療科別の診療所数

		内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科
郡市医師会												
河北郡市	かほく市	31	5	7	1	21	4	6	0	6	3	1
	津幡町	12	3	2	0	9	1	2	0	2	0	1
	内灘町	11	1	4	1	7	1	3	0	2	1	0

※複数診療科を標榜している場合、それぞれの診療科にカウントしている

(出典) 「地域医療情報システム」 (日本医師会)

## ＜診療所医師数及び診療所数に関する郡市医師会からのメッセージ＞



(出典) 地域医療情報システム (日本医師会)



○訪問診療を実施している医療機関数

市町	診療所数						市町	病院数								
	うち調査回答機関数							うち調査回答機関数								
	うち訪問診療実施機関数							うち訪問診療実施機関数								
	担当患者数別							担当患者数別								
	1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上	
津幡町	23	17	3	1	0	2	津幡町	2	2	0	0	0	0	0	0	0

(出典) H28石川県健康福祉部地域医療推進室調べ

<訪問診療に関する郡市医師会からのメッセージ>

・多職種と連携し在宅医療を推進しているので協力をお願いしたい。

○その他の医療機能に関する郡市医師会メッセージ

・産業医の資格を持っている方は積極的な活用をお願いしたい。

○石川中央医療圏（津幡町）における不足する医療機能

外来医師多数区域である石川中央医療圏で新規開業をする場合、届出の際、下記のいずれかの機能を担うことを確認する。

- 地域で特に不足する診療科での開業、診療所が特に不足する地区での開業
  - 特に不足する診療科：なし
  - 特に不足する地区：なし
- 訪問診療の実施
- 在宅当番医・金沢広域急病センターへの協力
- 地域で不足するその他の医療機能の実施
  - 不足するその他の医療機能：産業医

○在宅当番医・休日夜間急患センターの実施体制

区分	参加数	(参考) 郡市医師会	
<b>○河北郡市医師会・在宅当番医(2か所)</b>		河北郡市医師会(49)	内科とその他の診療科の組み合わせ。 小児は内科で対応。急病センターと掛け持ちの医師あり。
①かほく市	診療所15 病院2	・かほく市16	
②津幡町	診療所18 病院2	・津幡町19	
③内灘町	診療所11	・内灘町14	
<b>○金沢広域急病センター</b>		※金沢広域急病センターの小児科は石川中央医療圏4市2町により	
①小児科	登録医55人(うち大学派遣15人)	合同で運営	

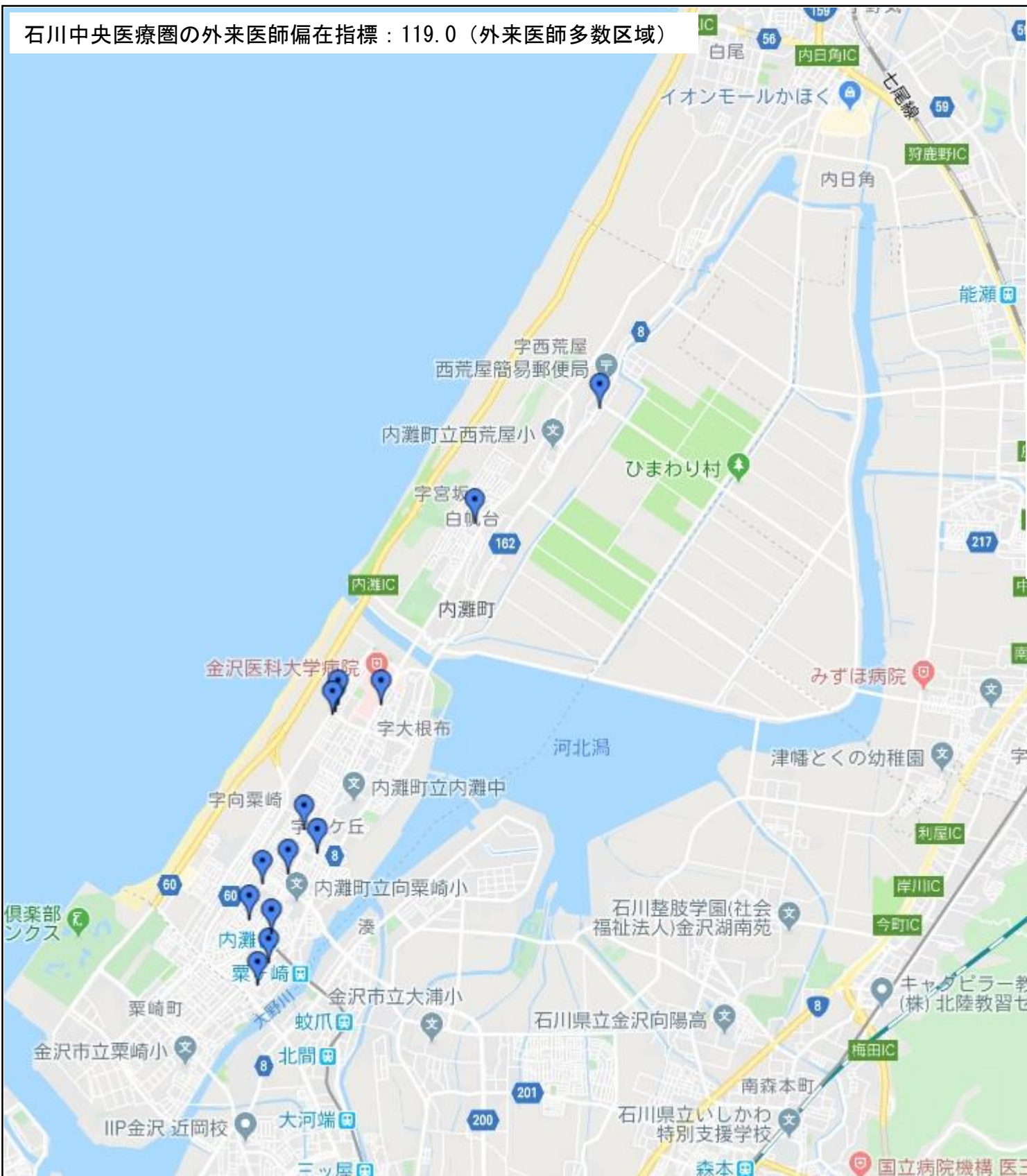
(出典) 診療所数：「地域医療情報システム」(日本医師会)

在宅当番参加数：「救急医療提供体制現況調べ」(地域医療推進室)

<在宅当番医・休日夜間急患センターに関する郡市医師会からのメッセージ>

・行政からの委託事業である休日当番医に参加をお願いしたい。

内灘町：河北郡市医師会管内



(出典) 地域医療情報システム（日本医師会）

○主たる診療科別の診療所医師数

内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科	その他
6	0	0	0	0	1	2	0	2	2	0	2

(出典) 外来医師偏在指標に係るデータ集（厚生労働省）

○診療科別の診療所数

		内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科
郡市医師会												
河北郡市	かほく市	31	5	7	1	21	4	6	0	6	3	1
	津幡町	12	3	2	0	9	1	2	0	2	0	1
	内灘町	11	1	4	1	7	1	3	0	2	1	0

※複数診療科を標榜している場合、それぞれの診療科にカウントしている

(出典) 「地域医療情報システム」（日本医師会）

<診療所医師数及び診療所数に関する郡市医師会からのメッセージ>

- 胃カメラによる胃がん検診が始まったが、対応できる医師が不足しているため、胃内視鏡のできる医師の開業をお待ちしている。

○訪問診療を実施している医療機関数

市町	診療所数						市町	病院数								
	うち調査回答機関数							うち調査回答機関数								
	うち訪問診療実施機関数							うち訪問診療実施機関数								
	担当患者数別							担当患者数別								
	1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上	
内灘町	15	14	4	3	0	1	内灘町	2	2	0	0	0	0	0	0	0

(出典) H28石川県健康福祉部地域医療推進室調べ

<訪問診療に関する郡市医師会からのメッセージ>

・多職種と連携し在宅医療を推進しているので協力をお願いしたい。

○その他の医療機能に関する郡市医師会メッセージ

・産業医の資格を持っている方は積極的な活用をお願いしたい。

○石川中央医療圏（内灘町）における不足する医療機能

外来医師多数区域である石川中央医療圏で新規開業をする場合、届出の際、下記のいずれかの機能を担うことを確認する。

- 地域で特に不足する診療科での開業、診療所が特に不足する地区での開業  
特に不足する診療科：内科（胃内視鏡を実施する場合のみ）  
特に不足する地区：なし
- 訪問診療の実施
- 在宅当番医・金沢広域急病センターへの協力
- 地域で不足するその他の医療機能の実施  
不足するその他の医療機能：産業医

○在宅当番医・休日夜間急患センターの実施体制

区分	参加数	(参考) 郡市医師会	
<b>○河北郡市医師会・在宅当番医（2か所）</b>		河北郡市医師会（49）	
①かほく市	診療所15 病院2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かほく市16</li> <li>・津幡町19</li> <li>・内灘町14</li> </ul> 内科とその他の診療科の組み合わせ。 小児は内科で対応。急病センターと掛け持ちの医師あり。	
②津幡町	診療所18 病院2		
③内灘町	診療所11		
<b>○金沢広域急病センター</b>		※金沢広域急病センターの小児科は石川中央医療圏4市2町により	
①小児科	登録医55人（うち大学派遣15人）	合同で運営	

(出典) 診療所数：「地域医療情報システム」（日本医師会）

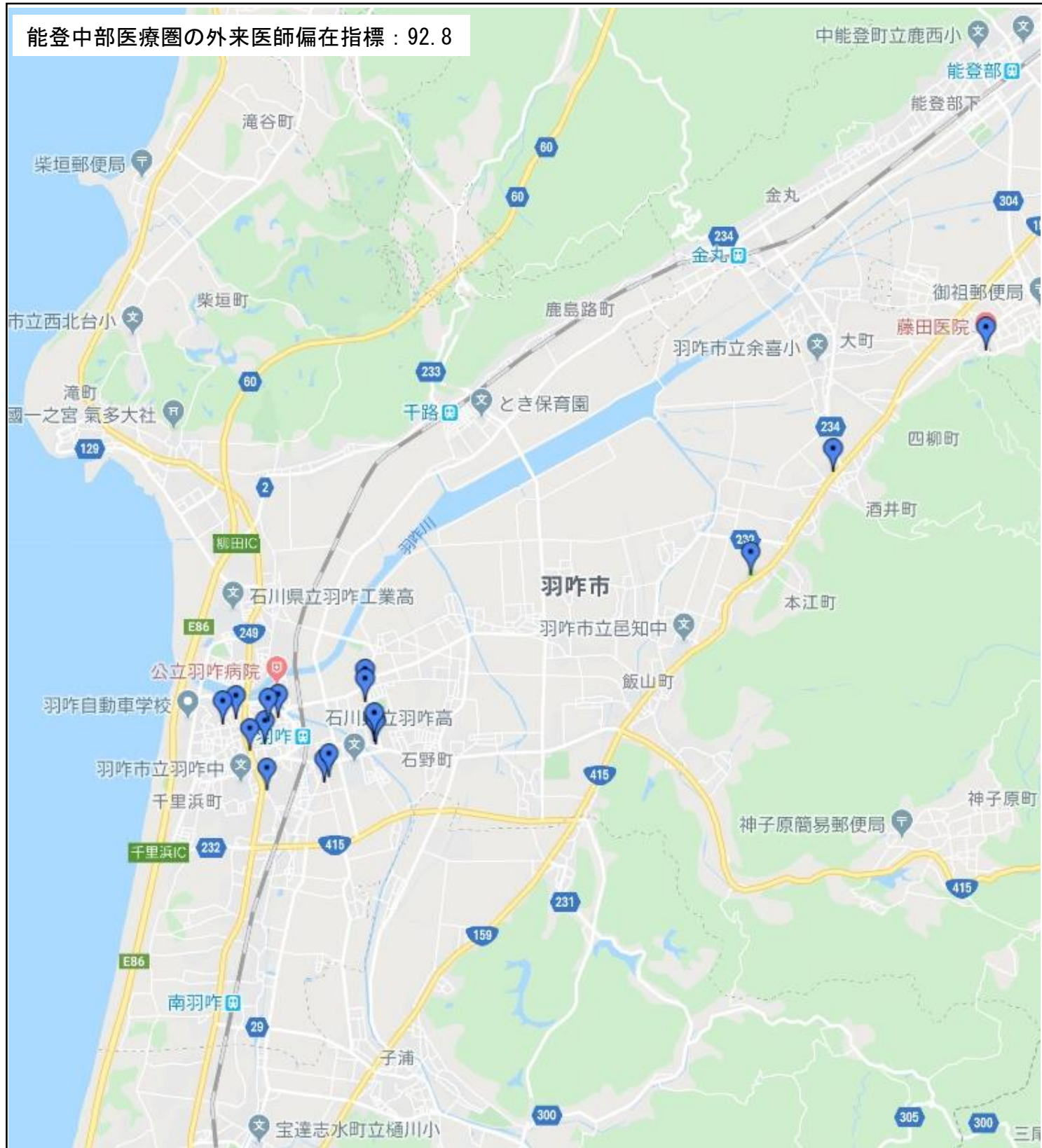
在宅当番参加数：「救急医療提供体制現況調べ」（地域医療推進室）

<在宅当番医・休日夜間急患センターに関する郡市医師会からのメッセージ>

・行政からの委託事業である休日当番医に参加をお願いしたい。



# 羽咋市：羽咋郡市医師会管内



(出典) 地域医療情報システム (日本医師会)

## ○主たる診療科別の診療所医師数

内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科	その他
9	1	2	0	1	1	0	0	1	1	0	1

(出典) 外来医師偏在指標に係るデータ集 (厚生労働省)

## ○診療科別の診療所数

		内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科
郡市医師会												
羽咋郡市	羽咋市	18	6	6	0	7	1	1	0	1	3	1
	志賀町	10	3	4	0	3	1	1	0	1	1	1
	宝達志水町	6	3	2	0	2	0	0	0	0	2	0
	宝達志水町	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0

※複数診療科を標榜している場合、それぞれの診療科にカウントしている  
(出典) 「地域医療情報システム」 (日本医師会)

## ＜診療所医師数及び診療所数に関する郡市医師会からのメッセージ＞

＜羽咋郡市医師会管内 (羽咋市、志賀町、宝達志水町) 共通＞  
 羽咋郡市域内の医療施設数 (公立、私立併せて) は20年前の41か所から現在29か所と減少している。  
 また公立病院の勤務医を除く診療科別医師数は、  
 内科17か所19人 (30代後半2、40代前半1、同後半1、50代前半3、同後半1、60代前半5、同後半6)  
 小児科2か所3人 (40代後半2、60代前半1)  
 外科1か所1人 (70代後半1)  
 整形外科3か所5人 (40代前半1、同後半1、60代前半1、70代前半1、同後半1)  
 精神科1か所1人 (60代前半1)、  
 産婦人科1か所1人 (80代前半1)、  
 耳鼻咽喉科2か所2人 (40代後半1、60代前半1)、  
 眼科1か所1人 (60代後半1)、  
 皮膚科・形成外科1か所1人 (50代前半1)  
 となっている。内科と整形外科の医師数に比較的余裕があると感じるかもしれないが、面積が広いという地域性もあり医師の数は不足している。診療科を問わず意欲のある方の新規開業を期待している。

○訪問診療を実施している医療機関数

市町	診療所数						市町	病院数								
	うち調査回答機関数							うち調査回答機関数								
	うち訪問診療実施機関数							うち訪問診療実施機関数								
	担当患者数別							担当患者数別								
	1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上	
羽咋市	20	16	6	3	1	2	羽咋市	1	1	0	0	0	0			

(出典) H28石川県健康福祉部地域医療推進室調べ

<訪問診療に関する郡市医師会からのメッセージ>

<羽咋郡市医師会管内（羽咋市、志賀町、宝達志水町）共通>  
 訪問診療の担い手が不足しているため、訪問診療を担う新規開業者をお待ちしている。

○その他の医療機能に関する郡市医師会メッセージ

<羽咋郡市医師会管内（羽咋市、志賀町、宝達志水町）共通>  
 当医師会員数の減少とともに、学校医、保育園・幼稚園の嘱託医、また産業医の担い手が不足してきている。その他にも行政と関わる各種委員等、協力していただける方の新規開業を期待している。

○在宅当番医の実施体制

区分	参加数	(参考) 郡市医師会
○羽咋郡市医師会・在宅当番医		羽咋郡市医師会 (26)
①羽咋市	診療所14	・羽咋市17 ・志賀町7・宝達志水町2
②羽咋市以外	診療所9 病院1	
○七尾市・羽咋郡市医師会 小児科在宅当番医	診療所4 病院4	七尾市医師会・羽咋郡市医師会 (小児科)

(出典) 診療所数：「地域医療情報システム」(日本医師会)

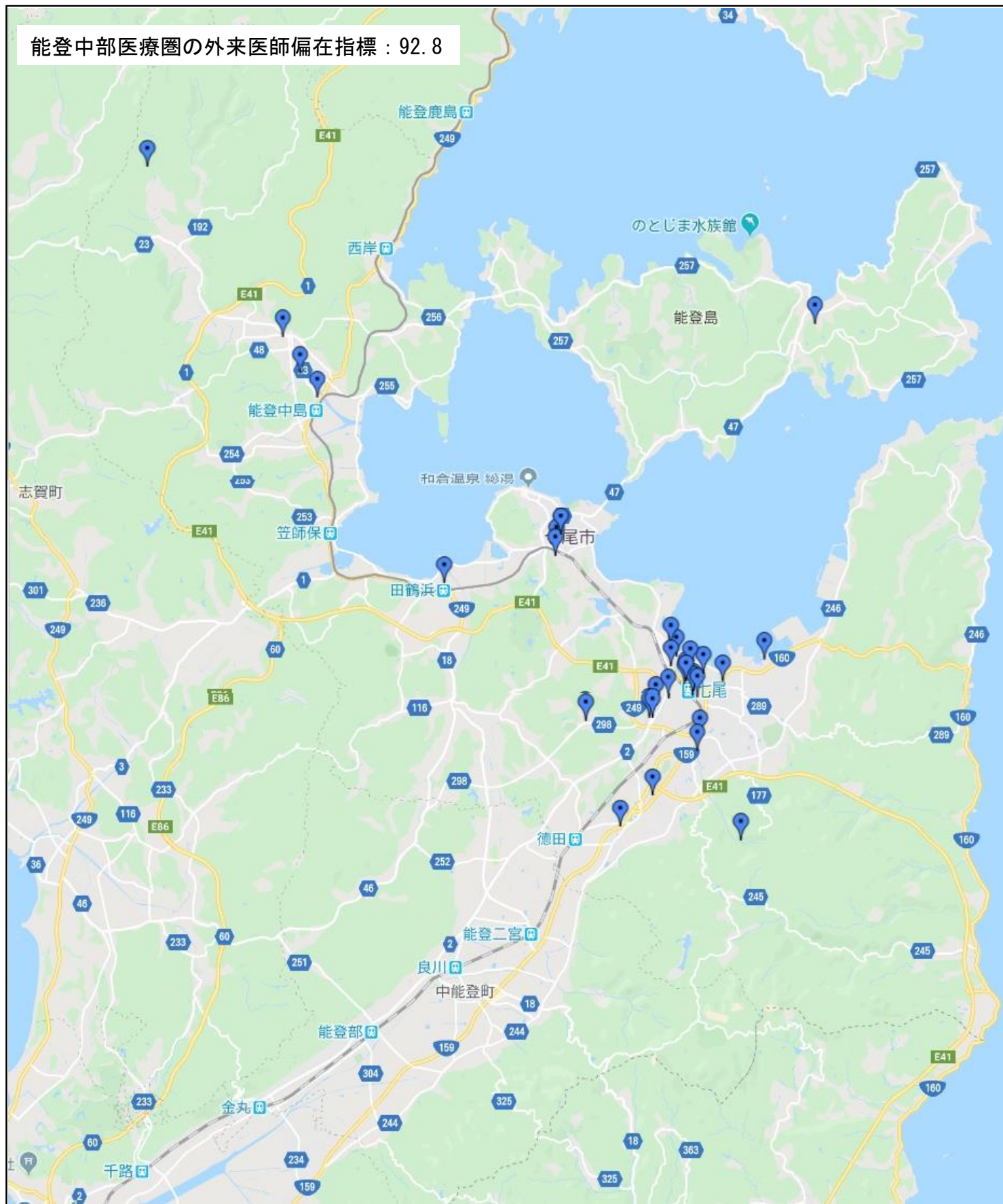
在宅当番参加数：「救急医療提供体制現況調べ」(地域医療推進室)

<在宅当番医に関する郡市医師会からのメッセージ>

<羽咋郡市医師会管内（羽咋市、志賀町、宝達志水町）共通>  
 ・日曜・祝日の午前に休日当番医として、交替で羽咋郡市域内の2医療施設が休日診療にあたっている。  
 ・小児科診療所と公立病院を除く医療施設の当医師会員が、原則全員で休日当番医を担っており、各医療施設が担当する回数は年間約6回である。  
 ・なお小児科については別枠で、七尾市医師会とともに広域で小児休日当番医制を行っている。



# 七尾市：七尾市医師会管内



## ○主たる診療科別の診療所医師数

内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科	その他
17	2	4	0	2	2	3	0	4	1	1	4

(出典) 外来医師偏在指標に係るデータ集 (厚生労働省)

## ○診療科別の診療所数

郡市医師会	市町	内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科
		七尾市	27	6	7	0	9	3	1	0	5	1
七尾市	七尾市	23	5	7	0	8	3	1	0	5	1	1
	中能登町	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0

※複数診療科を標榜している場合、それぞれの診療科にカウントしている

(出典) 「地域医療情報システム」 (日本医師会)

## <診療所医師数及び診療所数に関する郡市医師会からのメッセージ>

<七尾市医師会管内(七尾市、中能登町)共通>

- ・〔資料1〕に示した通り、七尾市および中能登町の開業医の約半数は65歳以上である。
- ・特に眼科は4人全員が65歳以上であり、現時点で継承の予定がないことから、5年～10年後にはゼロとなる可能性がある。
- ・小児科は令和1年度末で1人となる事が決まっており、現時点で1人である耳鼻科、精神科と共に絶対的に不足している。
- ・皮膚科も近い将来1人となる可能性が高いため、新たな開業が期待される。

- ・過去15年間の新規開業、継承、閉院の推移は〔資料2〕に示した通りで、内科の新規開業は平成22年度を最後に途絶えている。
- ・一方近年、開業医の高齢化などによる閉院が急速に増え、そのスピードは人口の減少スピードを上回っている(R1年11月末現在、七尾市の人口 52,160人、中能登町人口 17,870人)。特にかかりつけ医機能を持つ内科、小児科の閉院が目立ち、これらの科の新規開業が望まれる。

(出典) 地域医療情報システム (日本医師会)



## ○訪問診療を実施している医療機関数

市町	診療所数						市町	病院数								
	うち調査回答機関数							うち調査回答機関数								
	うち訪問診療実施機関数							うち訪問診療実施機関数								
	担当患者数別							担当患者数別								
	1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上	
七尾市	46	25	6	2	1	3	七尾市	7	7	6	2	0	4			

(出典) H28石川県健康福祉部地域医療推進室調べ

## <訪問診療に関する郡市医師会からのメッセージ>

<七尾市医師会管内（七尾市、中能登町）共通>

- ・七尾市で訪問診療を行っている診療所は比較的多く、多人数の患者を担当している病院も多い。中能登町でも約半数の診療所が訪問診療を行っている。
- ・しかし七尾市は面積が広いと、効率的な訪問診療を行っているとは言い難い。理想としては、各地区の診療所の医師がその近くの患者を訪問する事が望ましいと考えるが、診療所自体が減少している現状では広域を担当せざるを得ない。少しでも開業医が増えれば、このような状況を改善できると考えている。
- ・市内には総合病院が2ヶ所あるため、後方支援体制は非常に整っている。

## ○休日当番医の実施体制

区分	参加数	(参考) 郡市医師会
○七尾市医師会・在宅当番医（2カ所）		七尾市医師会（36）
①七尾市街地	診療所19 病院3	・七尾市街地20（民間20）
②鹿北地区・和倉温泉周辺（隔週）	診療所6	・鹿北地区・和倉温泉周辺9（民間6、公設民営1、公設2）
③中能登町・七尾市南西（隔週）	診療所7 (中能登3 七尾3 羽咋1)	・中能登町4（民間3、公設民営1） ・七尾市南西3（民間3）・羽咋市（民間1）
○七尾市・羽咋郡市医師会 小児科在宅当番医	診療所4 病院4	七尾市医師会・羽咋郡市医師会（小児科）

(出典) 診療所数：「地域医療情報システム」（日本医師会）

在宅当番参加数：「救急医療提供体制現況調べ」（地域医療推進室）

## <休日当番医に関する郡市医師会からのメッセージ>

<七尾市医師会管内（七尾市、中能登町）共通>

- ・七尾市医師会においては、一次救急に対応する休日当番医は七尾市・中能登町を3区分し（中能登エリア・七尾中央エリア・七尾北部エリア）、七尾中央エリアは週に1回、その他のエリアは2週に1回、自院にて診療を行っている。1医療機関当たりの出務回数は半年で3回前後である。

- ・高度な医療を要する際、七尾市内2ヶ所の総合病院との連携は円滑である。

- ・小児休日診療は平成28年度から羽咋郡市医師会と協力して広域化を図った。これは減少する小児科医の疲弊を緩和・改善することと過疎地の小児医療を守ることが目的で、現在 総合病院2ヶ所を含む7医療機関で運営している。出務回数は総合病院が半年に8～10回、開業医が3～4回である。
- ・年に2回、能登中部小児休日診療協議会を行って、実施状況、問題点などを確認し、より円滑な運営を目指している。

## ○その他の医療機能に関する郡市医師会メッセージ

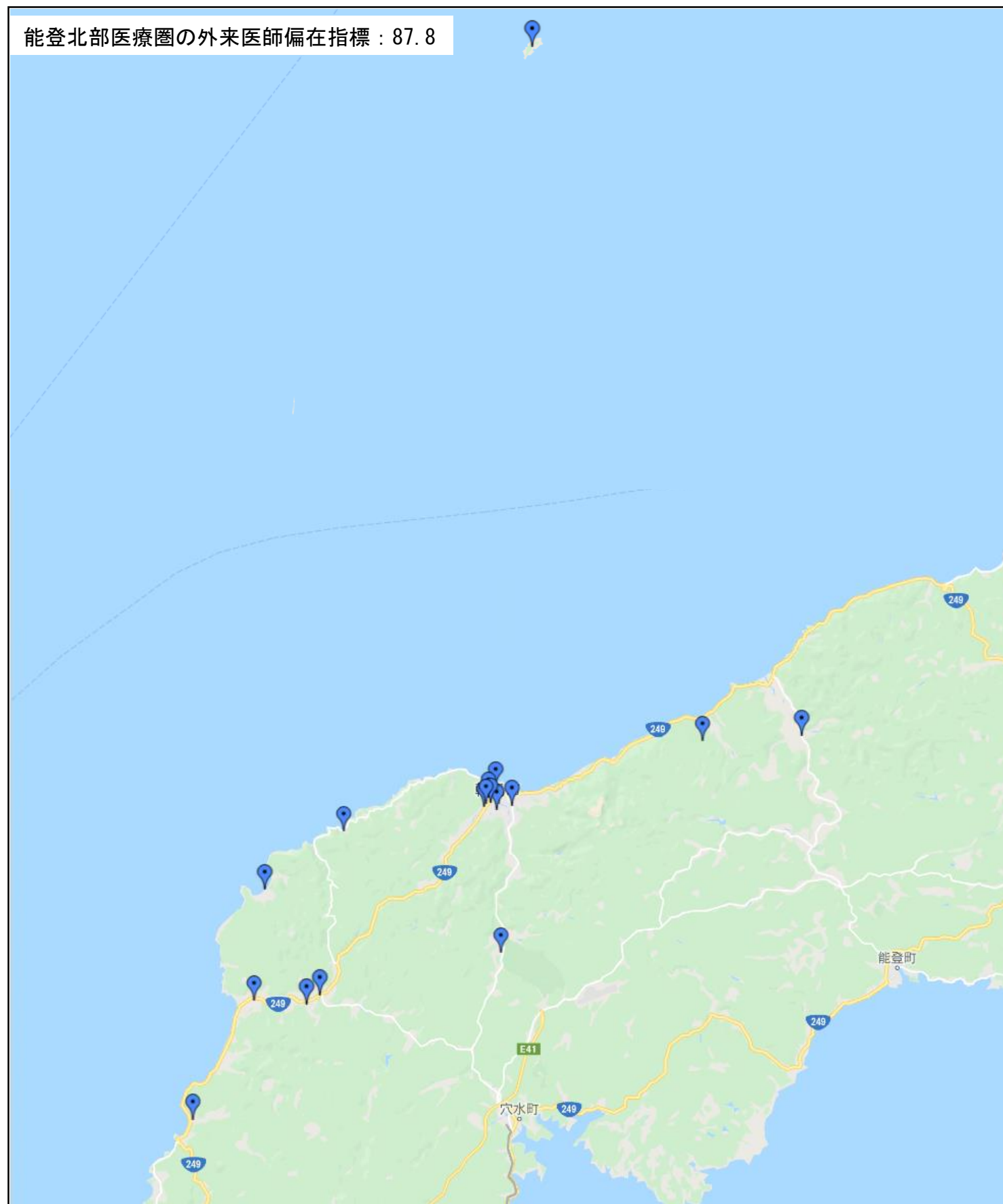
<七尾市医師会管内（七尾市、中能登町）共通>

- ・七尾市医師会では開業医が減少傾向にあり、必然的に学校医・産業医（特に中小企業）も不足している。このため、開業医には学校医や産業医への積極的な参加・協力をお願いしている。

- ・七尾市の介護認定審査会委員には、小児科、産婦人科以外の診療科の医師には、特別な理由がない限り、全員就任して頂いている（総合病院は複数名、その他の開業医は1医療機関1名）。委員の任期は1年間（実質は2週に一度、6か月間 委員会に出席）で、3年に一度のローテーションで務めて頂くこととなる。新規開業される先生方にはこれに関しても是非ご協力頂きたい。
- ・中能登町における介護認定審査会は、特別な理由がない限り、町内全診療所の医師に医師に医務院を務めていただいている。

新規開業される先生方にはこれに関してもぜひご協力いただきたい。

## 輪島市：能登北部医師会管内



(出典) 地域医療情報システム (日本医師会)

## ○主たる診療科別の診療所医師数

内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科	その他
12	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0

(出典) 外来医師偏在指標に係るデータ集 (厚生労働省)

## ○診療科別の診療所数

郡市医師会	市町	内科	外科	整形外科	脳神経外科	小児科	産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科
		能登北部	33	10	8	1	10	0	3	0	3	0
	輪島市	15	5	5	0	4	0	1	0	2	0	1
	穴水町	6	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1
	珠洲市	5	1	2	1	3	0	2	0	1	0	0
	能登町	7	4	1	0	1	0	0	0	0	0	0

※複数診療科を標榜している場合、それぞれの診療科にカウントしている

(出典) 「地域医療情報システム」 (日本医師会)

## ＜診療所医師数及び診療所数に関する郡市医師会からのメッセージ＞

＜能登北部医師会管内（輪島市、珠洲市、能登町、穴水町）共通＞

- ・人口10万人当たりの医師数は県内で最も低い。  
→南加賀：62.2人、石川中央：80.9人、能登中部：59.8人、能登北部：49.3人  
石川県全体：72.8人、（参考）全国：80.2人
- ・4市町にそれぞれ公立病院が1病院ずつある。民間病院は療養型（一部介護医療院への転換を予定）が1つある。
- ・開業医の年齢分布は、30代：2名、40代：2名、50代：7名、60代：13名、70代：4名と60歳以上が7割を占める。
- ・開業における診療科別の医師数は、内科以外も標榜する診療機関はあるが、実質内科系の診療を主に行っている（眼科、精神科、小児科を除く）。
- ・眼科の開業医数は3名だが、60歳代後半、70歳代が各々1名である。
- ・耳鼻咽喉科および泌尿器科の開業医はいない。
- ・5年後には開業医の平均年齢はさらに上がるだけでなく、承継者（子どもなど）がいない診療所が多く、閉院が予想される。新規開業の他、承継を検討することも選択肢の一つである。

○訪問診療を実施している医療機関数

市町	診療所数						市町	病院数								
	うち調査回答機関数							うち調査回答機関数								
	うち訪問診療実施機関数							うち訪問診療実施機関数								
	担当患者数別							担当患者数別								
	1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上		1～9名	10～19名	20名以上	
輪島市	23	14	2	1	1	0	輪島市	1	1	1	0	1	0			

(出典) H28石川県健康福祉部地域医療推進室調べ

<訪問診療に関する郡市医師会からのメッセージ>

○その他の医療機能に関する郡市医師会メッセージ

○休日当番医の実施体制

区分	参加数	(参考) 郡市医師会	
○能登北部医師会・在宅当番医(2か所)		能登北部医師会(37)	
①輪島市・穴水町	診療所15	・輪島市17(民間12、公設5) ・穴水町6(民間5、公設1)	内科だけでなく、眼科、脳外等も含む
②珠洲市・能登町	診療所12	・珠洲市7(民間6、公設1) ・能登町7(民間6、公設1)	

(出典) 診療所数: 「地域医療情報システム」(日本医師会)

在宅当番参加数: 「救急医療提供体制現況調べ」(地域医療推進室)

<休日当番医に関する郡市医師会からのメッセージ>



(添付資料) 地域で不足する外来医療機能の実施に関する合意の有無

共同利用計画書 (案)

申請医療機関 住所 :  
名称 :  
代表者 :

1 診療所の名称等

名 称		
開設の場所	〒 電話 ( ) FAX ( )	
開設年月日		
診療科名		
管 理 者	住 所	
	氏 名	

2 地域で不足する外来医療機能の実施に関する合意の有無

地域で不足する医療機能の実施	<input type="checkbox"/> 合意する <input type="checkbox"/> 合意しない
合意する場合	<input type="checkbox"/> 地域で特に不足する診療科での開業、診療所が特に不足する地区での開業 ※診療科名または地区名 ( ) <input type="checkbox"/> 訪問診療の実施 <input type="checkbox"/> 休日当番医・金沢広域急病センターへの協力 <input type="checkbox"/> 地域で不足するその他の医療機能の実施 ※地域で不足するその他の医療機能 ( )
合意しない場合	(理由)

※本資料は、診療所開設届と合わせて石川県健康福祉部に提出する。また、石川県はその内容について石川県地域医療構想調整会議で報告し、資料及び協議結果を県HPにて公表する。なお、石川県は地域で不足する医療機能の実施に合意しない開設者に対し、石川県地域医療構想調整会議への出席及び合意しない理由の説明を求める場合がある。

(問い合わせ先)  
石川県健康福祉部地域医療推進室  
医療・介護連携推進グループ  
TEL:076-225-1468

共同利用を行う

<共同利用を行う場合の必要記載事項>

- ・共同利用の対象とする医療機器
- ・共同利用の対象先医療機関名
- ・保守・整備等の実施に関する方針
- ・画像情報及び画像診断情報の提供に関する方針

共同利用を行わない

<共同利用を行わない場合の理由>